

令和5年3月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す げん き みどり さと おお くさ の
住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

6年生のお別れ登山(3/6:月) 楽しく登りました!

卒業式を前に、とても良い思い出になりました!



「雲一つない」、という言葉そのままの大快晴になりました。今年の寄せ書きの真ん中には、川内先生の手によるホタピーが大きく描いてあって、その周囲全体に6年生の手形と名前が書いてありました。できるだけ長く頂上ではためいてほしいと思います。大声をあげて、「ストレスが発散できました!」と感想を言っている

子もいました。保護者の方も6名ほど一緒に登っていただきました。有り難うございました、中学校に進学して大きく飛躍、成長してくれることを祈っています。



お宝 48 (フォーティエイト) ウォーク (3月7日:火)

6日に引き続きの改正です。総勢35人の2・3年生が「お宝48」のガイドブックを持って、9つのお宝巡りをしました。ガイド役には、益世会の田中均会長、南上の山下義雄先生(96歳でお元気でした!）、渕副会長、そして角ノ谷の江口区長さん、それに先生たちにしていただきました。

この日は、佐賀新聞社の地元担当記者も取材に来てくれて、手前味噌で恐縮ですが、「子どもたちにとってわかりやすい本ができましたね。」との感想をいただきました。



私たち
コミュニ
ティの願
いは、こ

のガイドブックを子どもたちだけでなく、校区内の色々な組織、団体で有効活用していただければと思っています。学校の活用としては、低学年までは少し難しいかも知れませんが、卒業するまでにたくさんの大草野の宝を知ってもらい、「これからも大切にしたい」と思ってくれるようになってほしいと心から願っています。



感謝の会：子ども達からコミュニティへ御礼のことば(3月3日：金)

みなさん、感謝状・メダルをありがとうございました！



この日は晴天で、放射冷却のために一面霜に覆われた寒い日でしたが、コミュニティを代表して集まった12名の会員は、帰るころにはあったかい気持ちで、笑顔になっていました。コミュニティでは、年間を通じて子どもたちの学校生活に少しでも役立ち、そして楽しく過ごしてもらえればと思い行事への協力をしていきますが、6年生の卒業前のこの日に、感謝の会が開催されました。まず、児童会から会長が感謝状をいただき、そのあと、各学年からお礼の言葉があり、



ひとり一人がメダルを授与してもらいました。会長の挨拶の音が少し震えていたのは、寒さや緊張のせいばかりではなくて、きっと胸に込み上げてくるものがあったからでしょう。先生方、こんな会を開いていただき本当にありがとうございました。これからも「共に育て」行きましよう。

今年度最後の 校区内一斉清掃 (3月5日：日)



“早春”というのかもしれませんが、雲がなければいほど朝はまだ冷え込みます。山の端から朝日が昇りきらない早朝から沢山の皆さんが清掃活動に参加していただきました、毎回廻っていて、本当に有り難く思います。

多くの区長さんから、「最近ゴミも少なくなったばい。」と言う声が聞こえてきます。大草野の皆さんの日ごろの活動が実を結び、そして、活動を続けていく中で、「継続は力なり」と言いますが、活動が浸透することで自浄作用も起きているからかも知れません。今後も、自分が住む地域は、自らの手で美しくしていくという行動を続けていけたらと思います。皆様のご協力を心からお願いいたします。



へへ編集後記へへ
おかげおかげで・・・」

行政経験があったことで現在、コミュニティで色々な行事の準備をして、各部会の事業が円滑に進むように段取りをすることは、少し年取った今でもそんなに苦になることはありません。

通常の行政事務だけでなくイベントの担当もたくさん経験しましたが、その環境がいつも順調だったとは言えません。一番困ったのは、特別な意思を持って意図的に業務を妨害しようとする人がいたことです。

そんな人が一人でもいれば、その対応に追われて本来の仕事の準備が進まなくなります。公務の範囲で対応するのですから、力づくで、というわけにはいきません。しっかりと納得していただき、かつ協力してもらえらるようにならなければなりません。それは、公務だけでなく、地域社会でも同じことだろうと思います。

向こう三軒両隣、それ以上の範囲でできる限りみんなが笑顔で暮らせるようになるためには、おいがおいがの我を捨てて、おかげおかげの下でくらせ」ではないでしょうか？